

nagomi no hiroba

このコーナーでは、「お便り」や「写真」をお待ちしています。

- 【投稿について】
- ◆お便りは200文字以内。写真は1枚につき50文字以内。(文章は、必要に応じて添削します)
 - ◆住所・氏名・年齢・電話番号・ペンネーム(記入がない場合イニシャルで掲載)を記入の上、ご投稿ください。
 - ◆投稿は、はがき・封書・FAX・メールまたは直接伊佐PR課(大口ふれあいセンター2階)へ
 - ◆締切は、毎月10日
 - ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
 - ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。
 - ◆投稿者の中から抽選でプレゼントが当たります。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。



【投稿・問い合わせ先】
 〒895-2511
 伊佐市大口里2845番地2
 伊佐PR課
 「和みのひろば」係
 ☎294113
 ☎29420
 ✉koho@city.isa.lg.jp



多くの学校に、空想科学読本の著者の柳田理科雄先生が来しました。先生は、「何かを見たり聞いたりするときは、『もう知っている』と思って聞くのと、『違う角度から見てみよう』と思って聞くのとは全然違うんだよ」と言いました。自分だけの新しい発見があるかもしれないと教えてくれました。

大口を離れて4年が経ちました。時は流れて孫の存在が日々を癒してくれる年齢になりました。市報は毎月Padを通して拝読しています。私とふるさととは繋がっています。帰省の度に主人は私のふるさと大口を「終の棲家」にしたいと言っています。帰ってきやっひゃー」と迎えてもらおうあの方言が心を温かくしてくれるのだそうです。空家が増えなつかしいお顔が少なくなりました。今夏も「帰ってきやっひゃー」の声を聞きに行きます。
 (埼玉県 埼玉のかかちゃん 60代)

理科ボーイさん、理科雄先生の話でもたくさん発見がありましたね。日常は不思議であふれています。意識して見てみると毎日が面白くなりそうですね。



自宅畑に植え、家内が収穫した夫婦キュウリです。私90歳、家内87歳と同じく、「長〜く」になりました。
 (田中 A・M 90代)

した。
 ぼくもこれから色々なことをじっくり観察して、将来は理科雄先生みたいな科学者になりたいです。
 (大口 理科ボーイ 小学生)



人口のうごき (住民基本台帳から)

H30. 7. 1 現在 (前月比)

総人口	26,314人	(- 11)
男	12,235人	(- 14)
女	14,079人	(+ 3)
世帯数	13,611世帯	(+ 1)



編集後記

すっかり梅雨は明けましたが、今年の豪雨は凄まじかったですね。伊佐市には大きな被害がなくてホッとした反面、西日本の惨状をニュースで見ていると、「いつか起こりうるかもしれない」という不安を感じます。大きな災害があったとき、迅速な判断と行動ができるかどうかの重要性を改めて実感しました。
 7月6日には、避難所担当の市職員を対象に「避難所運営ゲーム」という研修が行われました。避難者の状態を一人ひとり把握して、臨機応変に対応する訓練です。グループごとに協力し合い、よりよい形を模索していました。
 「もしも」のシミュレーションは実践で役に立ちます。夏本番、台風の心配などまだまだ気が抜けませんが、防災意識を高く持ち、ぜひ訓練等に参加しましょう。